

堺市上下水道事業懇話会 全体会議 議事概要

- 1 開催日 平成30年10月1日（月）午後3時00分から午後3時30分まで
- 2 場 所 堺市上下水道局本庁舎 4階研修室
- 3 出席者 ○委員（敬称略 順不同）
岩本朗 楢田泰子 佐藤雅代 篠藤敦子
○堺市
上下水道事業管理者 出耒明彦
上下水道局次長兼経営企画室長 向井一裕
総務部長 坂口兼
水道部長 児玉隆広
下水道部長 西野善雄
ほか14名
○その他 一般傍聴者 1名

4 議事概要

議事（1）開会

- ・ 構成員の紹介
- ・ 開催における注意事項
- ・ 配布資料の確認

議事（2）「単年度事業に関する会議」の報告【資料5・資料6】

（堺市）

平成30年度堺市上下水道事業懇話会の分野別会議となる「単年度事業に関する会議」を全2回開催した。

6月27日の第1回では、経営診断書における自己評価の説明を行った。

7月9日の第2回では、構成員からの意見聴取と評価のまとめを行い、本日配布している資料5「平成30年度経営診断書」として、取りまとめを行った。

別添の資料6「経営診断書 概要版」をもとに、構成員からいただいた意見を中心にご報告させていただく。

平成29年度は、堺市上下水道ビジョンの施行2年目であり、「Team上下水道」として「し・ん・ら・い・Ki・Zu・Ku」を行動規範に、職員一丸となって上下水道事業に取り組んできた。

その結果を、上下水道局において自己評価し、経営分析と計画評価という形で経営診断書に整理した。

1. 計画評価

計画評価に関しては「安全安心なライフラインの確保」「将来に向けた快適な暮らしの確保」「しんらいを築く堺の上下水道への挑戦」の3つの基本方針ごとに、ご意見をいただいた。

一つ目の「安全安心なライフラインの確保」では管路・施設の耐震化、浸水対策、その他の事業も概ね計画どおり事業が進んだことにより、安全安心なライフラインの確保は、着実に進んでいると評価をいただいた。

今後、水道の優先耐震化路線の構築や浸水危険解消重点地区の対策工事など、一部事業の遅れを取り戻すべきであるとの意見をいただいた。

また、業務の外部委託が進むなか、市民窓口機能を担う委託業者との連携を含めての評価が必要であるとのご意見などをいただいた。

二つ目の「将来に向けて快適な暮らしの確保」では、経営の安定化に向けた企業債の借入抑制やアセットマネジメント手法による水道管路施設の計画的な点検と更新、下水道事業へのアセットマネジメントの本格導入に向けた検討などの事業について、概ね計画どおり進んだことにより、将来に向けた快適な暮らしの確保は、ほぼ着実に進んでいると評価をいただいた。

しかし、2年連続でB評価となった施策もあることから、水道幹線管の更新や配水池の劣化度調査などについては、ビジョン期間内に事業目標を達成できるよう取り組むべきであるとのご意見をいただいた。

また、有収率が低下傾向にあることから、不明水対策が重要であるとのご意見などをいただいた。

3つ目の「しんらいを築く堺の上下水道への挑戦」については、下水道研究発表会における「多様な主体と協働した堺市の下水道広報」の最優秀賞受賞、若手職員の重点的な育成、お客さまの声を経営に反映する仕組みの検討など、一部は計画を超えて推進されたことにより、しんらいを築く堺の上下水道への挑戦は、積極的に取り組んでいると評価をいただいた。

2. 組織運営全般

組織運営全般に関する評価として、今池水みらいセンターにおける下水道管破損事故対応については、平常時からの組織体制や組織間の連携、訓練やマニュアルの整備など、平常時の取り組みが活かされたため、事態を早い段階で抑えることができたとの評価をいただいた。

事故の検証を通じて、平常時の備えが不足していた部分については、今後の教訓としてしっかり活かすべきであるとのご意見もいただいた。

3. 経営評価

経営評価に関しては、平成29年度決算では水道事業会計、下水道事業会計とも、経営改善プロジェクトなどの取組によって、上下水道ビジョンを上回る純利益や累積資金の確保ができてきている。

経営分析に関しては、収益性・安定性・効率性・料金の4つの評価区分の経営指標について、水道事業及び下水道事業のそれぞれに対してご意見をいただいた。

水道事業については、料金収入が減少するなか、特に有収水量が減少していることから、増加する不明水の要因分析と対応を引き続き行うべきであるとのご意見をいただいた。

また、経常収支比率は100%を上回っているが、将来的には厳しくなることが予想されるため、営業費用を削減させる方策を検討し、経営の安定を維持すべきであるとのご意見をいただいた。

下水道事業に関しては、経営状況は改善に向かいつつあるが、引き続き厳しい状況が続いており、大都市比較でも下位の水準にあるため、より一層、経営改革に取り組んでいかなければならず、今後、管きよの経年化率が高まることから、アセットマネジメント計画を策定し、事業費と企業債借入額の抑制に取り組むべきであるとの意見をいただいた。

議事（３）「水道料金体系・制度に関する会議」の報告【資料７】

（堺市）

上下水道局では、市民生活の根幹をなす水道事業の安全安心を継続し続けるために、経営基盤の強化に取り組んでいるところである。

料金体系に関しては、人口減少による水需要の減少だけでなく、大口需要者の地下水利用への転換や世帯規模の縮小など、水道事業の財源である水道料金収入が、更に減少する構造において事業を持続していくためには、使用者の公平性の観点からも適正な水道料金の設定が必要である。

また、料金制度に関しては、公営企業の経営原則である経済性の発揮とともに、使用者に対する料金負担の公平性も必要と考えている。

「水道料金体系・制度に関する会議」では、人口減少や施設の更新需要の高まりなど、経営環境が日々変化していくなかで、6月27日、8月2日、そして本日10月1日を最終とする3度の会議を開催し、本市の今後のあるべき水道料金体系・制度についての考え方に対し、構成員の先生方から、ご意見をいただいた。

1. 料金体系

料金体系に関しては3点のご意見をいただいた。

一つ目は、水道施設を適正に維持・更新していく財源のための、基本料金と従量料金の配分見直しが必要である。

二つ目は、世帯の小口化、大口需要者の地下水転換等の社会状況に鑑みた、経営安定化のための最低単価の適正な設定、すなわち逓増度の緩和が必要である。

三つ目は、生活用水の低廉化に配慮もしつつも、中長期的な経営の安定性を確保する料金体系への見直しが必要である。

2. 料金制度

福祉等施設料金制度については、次のご意見をいただいた。

福祉等施設に対する水道料金の負担軽減による減収が、その他の水道利用者に転嫁されるという点で課題がある。

一部の福祉施設にのみ制度が適用されるという点で、料金負担の公平性の観点で課題がある。

これらの課題や過去の懇話会における提言、また激変緩和を目的に導入された当制度が約40間継続されてきた経過を踏まえ、制度を廃止すべきである。

みなし料金制度については、次のご意見をいただいた。

水道料金は使用用途によらず、メーター口径に応じた基本料金と、使用区分に応じた従量料金を設定することが望ましいとされるなか、使用用途によって料金に差別を生じさせる本制度には課題がある。

このような課題に加え、激変緩和を目的に平成14年に制度が導入されてから相当期間が経過していることから、可能な限り速やかに見直しすべきである。

基本料金の日割計算については、次のご意見をいただいた。

基本料金の日割計算は、使用期間によっては料金徴収に必要な経費を回収できないという点で課題がある。

不足分する経費がその他の使用者に転嫁されないよう、料金徴収に必要な経費が確保でき

る制度を検討すべきである。

「水道料金体系・制度に関する会議」に関して頂戴したご意見に対し、経営環境の変化に柔軟に対応しながら、将来にわたり安定した水道事業経営を行うための料金体系・制度を検討して参る。

議事（４）閉会

・上下水道事業管理者挨拶

堺市上下水道事業懇話会を閉会するにあたりまして、一言ご挨拶申し上げます。

岩本先生、鋏田先生、篠藤先生、佐藤先生におかれましては、公私ご多忙のおり、6月から10月までの長きにわたり、熱心にご審議いただき、誠にありがとうございます。

また、本日ご欠席の貫上先生におかれましても、この場をお借りしてお礼申し上げます。

平成30年度の上下水道事業懇話会では、昨年度から開始した「単年度事業の経営診断」に加え、「水道料金体系・制度」についてもご審議いただいたところです。

経営診断にあたっては、委員の皆さまから、計画の進捗や経営の安定に向けたご意見に加え、今年度発生した大阪北部地震や平成30年7月豪雨の災害対応を踏まえたご意見をいただいたところです。

更に、この9月には本市でも台風21号による被害を受け、停電による断水や下水の流下機能の低下が生じております。改めて、災害はいつ起こってもおかしくないと認識しているところでございます。

災害時には訓練以上のことはできないと言われております。我々もこの教訓を活かしつつ、平常時にいかに備えておくか、ということが一番大事だろうと思っております。

ちょうど明日からPDCAサイクルの中間評価ということで、前期の評価、また後期の今後の方向性、次年度の予算編成を踏まえたヒアリングを始めてまいります。

私と事業課が侃々諤々で話し合いを進めていくこととなっております。

いただいた先生の意見も踏まえながら、次に活かしていきたいと思っておりますので、よろしくお願いたします。

また、先ほどまでご審議をいただいた「水道料金体系・制度」の会議では、長期的な経営の安定性を視野に入れた水道料金のあり方について、貴重なご意見をいただいたところです。

水道料金については、市民の皆さまの関心も高く、この9月の市議会でも、水道料金の値下げについての質問をいただいたところです。

持続可能な水道サービスを提供するためには、経営努力による低廉な料金設定はもちろんですが、長期的な経営の安定や、それぞれのお客さまの負担の公平性についても考えた、料金のあり方を検討してまいりたいと思っております。

むすびにあたりまして、それぞれのご専門分野からいただいたご意見を踏まえ、今後とも持続可能な水道・下水道事業の経営を行ってまいりますので、委員の皆さまによりしくお願いたします。

また、今般の診断書並びに料金制度の方向性につきましては、我々も見える化を図ってまいりたいと思っておりますので、一定の手続きを経て、公表していきたいと思っております。

委員の先生方におかれましては、今後とも堺市上下水道事業にご支援のほど、よろしくお願いたします。ご挨拶とさせていただきます。本当にありがとうございました。